

令和5年9月13日
松山港湾・空港整備事務所

「松山みなと見学会」を開催しました！

【日時】 令和5年8月25日（金） ※①②③の3回実施

①10:00～11:30

②13:00～14:30

③15:30～17:00



【場所】 松山港湾・空港整備事務所

【参加者数】 計 32 名

(①②各 12 名 小学生 6 名 保護者 6 名, ③8 名 小学生 4 名 保護者 4 名)

松山港湾・空港整備事務所では、海の日に関連したイベントとして「松山みなと見学会」を開催しました。「松山みなと見学会」は、小学生と保護者のみなさんに、“みなと”の役割を学び、より身近に感じてもらうと、当事務所が毎年開催※しているイベントです。今年は、計 32 名のみなさんに参加していただき、当事務所が実施する 5 つの仕事について紹介した後、港湾業務艇「くるしま」に乗船し、松山港の見学を行いました。

※令和2年度、令和3年度については新型コロナウイルス感染症の影響等により中止。

当日の様子（写真：松山港湾・空港整備事務所撮影）

松山港湾・空港整備事務所の仕事を紹介

松山港湾・空港整備事務所で開催している 5 つの仕事「①港湾の整備」「②開発保全航路の整備」「③空港の整備」「④海岸の整備」「⑤海洋環境の整備」について、参加者のみなさんに紹介しました。それぞれの仕事について、整備が必要な理由や整備がもたらす効果などを説明し、“みなと”とわたしたちの生活の繋がりについて学んでもらいました。

参加者のみなさんからは、「港の役割や仕事など、子どもだけでなく親の私も知らない話がたくさんあり、興味深かった。（保護者）」、「港の役割を分かりやすく説明していただき、理解が深まった。（保護者）」、「海の環境を守ってくれる船があって驚いた。（小学生）」などのコメントがありました。



▲松山港湾・空港整備事務所の仕事を紹介



▲海洋環境整備事業の動画を視聴

港湾業務艇「くるしま」による松山港見学

港湾業務艇「くるしま」に乗船し、松山港の見学を行いました。松山港湾・空港整備事務所を出発し、まずは松山港外港地区国際物流ターミナル周辺を見学。ガントリークレーンで、コンテナをコンテナ船に積み込む様子を間近で見ることができました。次に松山空港へ移動し、松山空港の歴史や現在の就航便について説明しました。また、海上から離着陸する飛行機を間近で見ることができ、歓声があがっていました。

参加者のみなさんからは、「コンテナを積み込む様子の見学など、貴重な体験ができて良かった（保護者）」、「防波堤の外は少し波が強くなった。防波堤のはたらきを知れた（小学生）」、「海の上からクレーンや空港を近くで見られて楽しかった（小学生）」などの声が聞かれました。



▲ 港湾業務艇「くるしま」に乗船



▲ コンテナが積み込まれる様子を見学



▲ 間近で見る飛行機にびっくり！



「松山みなと見学会」へのご参加
誠にありがとうございました。

当イベントは、毎年小学生の夏休み期間中に開催しています。
なお、来年度の参加者募集については、令和6年7月頃の
事務所HPやX（旧 Twitter）をご確認ください。